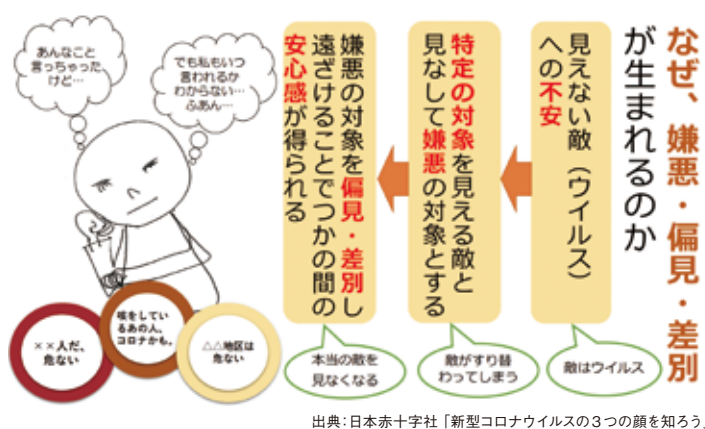


新型コロナウイルス感染症は、誰もが感染の可能性がある病気です。

新型コロナウイルス感染症は、感染すると発熱、咳、頭痛、倦怠感などの症状や呼吸困難を伴う肺炎を引き起こす場合があると報告されています。現時点では、有効な治療方法はなく、対症療法が中心となる病気で、感染しない、させないことが大切です。3つの密(密閉・密集・密接)を避ける・マスクを着用・こまめな手洗い等の基本的な感染予防を徹底し、感染症対策に努めましょう。

正しい知識で、偏見や差別をなくそう

感染の危険がある中、医療・介護従事者の方々や生活物資の輸送など社会機能の維持に貢献してくださっている方々を、傷つけるような不当な差別や偏見は決してあってはなりません。感染者やその属する施設・機関あるいは、我が国に居住する外国人の方々等に対する誤解や偏見に基づく差別もあってはならないものです。県民一人一人が正しい知識を持ち、思いやりと良識のある行動をしましょう。



いじめの防止

広島県教育委員会では、いじめの問題の克服に向け、「広島県いじめ防止基本方針」を定め、次のような基本的な考え方を示しています。

いじめの未然防止	児童生徒一人一人の状況を的確に把握し、全ての教育活動において望ましい集団づくりを進めるとともに、全ての児童生徒が積極的に教育活動に参加して活躍することができるよう、「知・徳・体」の基礎・基本の充実を図ります。
児童生徒の主体的な活動の支援	児童生徒が自律して、自分たちでいじめのない学校をめざして取り組んでいくことが重要であることから、児童会・生徒会組織の中に、いじめの防止等のための委員会を設置し、いじめ撲滅キャンペーンといった活動を行う等、児童生徒の主体的な活動を支援します。
いじめの早期発見・早期対応	いじめられている児童生徒を守るために、定期的、計画的なアンケート調査や教育相談を進めるとともに、日常的な実態の把握により、児童生徒が発するどんな小さなサインも見逃さず、早い段階で適切に対応するなど、いじめの早期発見・早期対応に取り組みます。
いじめへの組織的な対応	特定の教職員が問題を抱え込むことなく、学校全体で情報を共有します。また、いじめ防止対策推進法第22条により設置する「いじめ防止委員会」を中心に、全教職員がいじめられた児童生徒を守りきるという立場に立ち、組織的に対応します。
学校、家庭及び地域の連携	学校関係者、PTA及び地域の自治会等が連携・協働し、地域社会全体で児童生徒を見守り育てます。

教育相談窓口

- ◆24時間子供SOSダイヤル(全国)
☎0120-0-78310
- ◆いじめダイヤル24(広島県) 月～金曜日 9:00～19:00
☎082-420-1313
- ◆心のふれあい相談室(広島県) 月～金曜日 9:00～16:00
☎082-428-7110
- ◆こころの相談室(広島県) 火曜日・水曜日 10:00～17:00
☎084-925-3040

いじめや心の悩みについてひとりで悩まないでいつでも相談してくださいね。

ヒューマンフェスタひろしま「いじめ防止実践上映会」
～一人一人の命を大切に 学校からの発信～

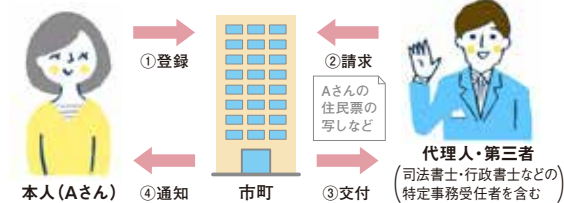
[日 時] 令和2年12月6日(日) 11:05～11:50 [会 場] 広島市総合福祉センター(BIG FRONT ひろしま)5Fホール
[上映校] 県立河内高等学校・県立三次青陵高等学校・県立呉南特別支援学校 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止の場合あり

児童生徒の主体的な活動の一部を動画上映により紹介します!!

なくそう、戸籍謄本等の不正取得

登録型本人通知制度(県内の市町取組)

この制度は、戸籍謄本や、住民票の写しなどの不正取得によって、身元調査などが行われ、個人の人権が侵害されることや振り込め詐欺などの犯罪に悪用されることを防止・抑止するために、市町が代理人や第三者に証明書を交付したとき、その事実を本人に知らせる制度です。



- 制度を実施している県内の市町とお問い合わせ先 登録を希望する人は、住民票または戸籍がある(過去にあった場合を含む)市町に事前に登録する必要があります。
- | | | |
|------------------------|----------------------------|----------------------------|
| ◆竹原市 市民課 ☎0846-22-7734 | ◆府中市 市民課 ☎0847-43-7127 | ◆安芸太田町 住民生活課 ☎0826-28-2116 |
| ◆三原市 市民課 ☎0848-67-6175 | ◆三次市 市民課 ☎0824-62-6138 | ◆北広島町 町民課 ☎050-5812-1854 |
| ◆尾道市 市民課 ☎0848-38-9104 | ◆東広島市 市民課 ☎082-420-0925 | ◆世羅町 町民課 ☎0847-22-5302 |
| ◆福山市 市民課 ☎084-928-1058 | ◆安芸高田市 総合窓口課 ☎0826-42-5616 | ◆神石高原町 住民課 ☎0847-89-3334 |
- 大崎上島町は、令和2年8月1日より本人通知制度の事前登録が不要になりました。 ◆大崎上島町 住民課 ☎0846-65-3113

北朝鮮当局による人権侵害問題に対する認識を深めよう

北朝鮮による拉致問題は、国民の生命と安全にかかわる重大な人権侵害問題です。この解決のために、私たち一人一人がこの問題に対する関心と認識を深めることが大切です。

北朝鮮人権侵害問題啓発週間 12月10日～16日

詳しくは、内閣官房拉致問題対策本部ホームページへ
<http://www.rachi.go.jp/>



広島県人権だより

令和2年(2020年)



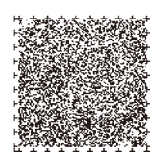
みんな違うから、助け合える強くなる
～ともに人権を守る未来を創る～

法務省人権啓発活動強調事項

- ① 女性の人権を守ろう
- ② 子どもの人権を守ろう
- ③ 高齢者の人権を守ろう
- ④ 障害を理由とする偏見や差別をなくそう
- ⑤ 同和問題(部落差別)を解消しよう
- ⑥ アイヌの人々に対する偏見や差別をなくそう
- ⑦ 外国人の人権を尊重しよう
- ⑧ HIV感染者等に対する偏見や差別をなくそう
- ⑨ ハンセン病患者・元患者・その家族に対する偏見や差別をなくそう
- ⑩ 刑を終えて出所した人に対する偏見や差別をなくそう
- ⑪ 犯罪被害者とその家族の人権に配慮しよう
- ⑫ インターネットによる人権侵害をなくそう
- ⑬ 北朝鮮当局による人権侵害問題に対する認識を深めよう
- ⑭ ホームレスに対する偏見や差別をなくそう
- ⑮ 性的指向及び性自認を理由とする偏見や差別をなくそう
- ⑯ 人身取引をなくそう
- ⑰ 東日本大震災に起因する偏見や差別をなくそう

協力/サンフレッチェ広島(左から) 森島 司選手・大迫 敬介選手 荒木 隼人選手

下記は音声コードです
目の不自由な方への情報提供を目的としています。



① 子ども、若者が抱える人権問題

当法人が運営する若年無業者等の職業的自立を支援する厚労省認定施設「さが若者サポートステーション」の実態調査によると、ニート状態が続く若者の64.3%が、要因の一つに対人関係上の問題を挙げています。このうちの60%以上がカウンセリング等の公的支援の利用経験が過去にあるものの、状態が改善せず、結果として「相談」「支援」自体に不信感を持った人が半数近くに及ぶというデータが出ています。この傾向は、引きこもるなどして社会的つながりを持たない若者に顕著に表れています。また、無業状態が長期化するケースでは、若者と家族との間の不和や対立、依存関係等、家族機能が低下している状態にある場合や、虐待、DV、貧困等の、従前より生育環境に問題を抱えていたケース等、本人に対してだけでなく、家族支援を含む環境へのアプローチが必要となる場合も多くあります。

このことから、子どもや若者の人権問題はさまざまであり、それぞれの問題が密接に絡み合っていることが分かります。

② スチューデント・サポート・フェイスについて

「認定特定非営利活動法人スチューデント・サポート・フェイス」は、不登校、ひきこもり、非行、ニート等困難を抱える子ども・若者の自立支援を目的に設立されたNPO法人です。当法人は、産業カウンセラー、臨床心理士、社会福祉士等の複数分野の専門職によるチーム対応を原則としており、専門の相談員が常駐し、学習や居場所づくり等を支援するコンシェルジュ・スペースの運営、県内の190か所以上の事業所等の協力による、職場見学や就労体験等を行う職親制度等により、社会参加・職業的自立に至るまでの総合的な自立支援事業を展開しています。

当法人の1つの特徴はネットワーク活用型のアウトリーチ（訪問支援）を行っていることです。このアウトリーチは、事前準備としていくつかのプロセスがあり、生物学的、心理社会的要因の分析の他、経緯ベースの分析による回避事項の把握等があります。実際のアウトリーチでは、支援者の好きなこと、性格等を事前に把握することから、不信感・拒絶感を払拭する「価値観のチャンネル合わせ」の技法活用、家族及び外部関係者を含む相対的な関係性を加味したマッチング、特殊ニーズに絞こんだ間接的な働きかけ等、膨大な実践を通じて発展的に構築された独自ノウハウを活用することで、安全

かつ効果的な訪問導入を可能としています。また、「協働」による2次的効果で分野横断的かつ総合的な支援体制を確立していることも特徴の1つです。

ある1つの事例では、多数の困難を抱える若者に対して、他機関等と連携を図り、主に本人への支援である、対人関係・行動・心理・疾病・障害・依存について担当する機関と家族支援である経済・制度利用について担当する機関とに分け、ネットワークを活用した同時並行で包括的な自立支援を行うことで、すべての課題において改善が見られ、支援者本人の就職先を決定することができました。

③ これからの展望について

これらの取り組みを通じて得られた42万2千件を超える相談実績（令和2年3月末日現在）及び関連する調査分析等を基に、今後の自立支援の在り方、さらにこれを支えるための連携の仕組みなどについて検討し、これからも「家庭」「職場」「社会」を有機的に紡ぐ社会的方策について考えていきたいと考えています。



認定特定非営利活動法人
スチューデント・サポート・フェイス代表理事
谷口 仁史

1976年 佐賀県武雄市生まれ。
2015年 NHK番組「プロフェッショナル 仕事の流儀」に出演。不登校、引きこもり、非行、ニート等の社会生活を営む上での困難を有する子ども、若者及びその家族等への支援とともに、社会的孤立や排除を生まないための支援を推進することによって、社会問題の解決に資することを目的に「NPOスチューデント・サポート・フェイス」を2003年に設立。

児童虐待・DVの相談窓口

児童虐待 虐待を受けたと思われる子どもを見つけたときは、ためらわずに連絡してください。

いちはやく
☎189

相談・連絡先

- 児童相談所虐待対応ダイヤル ☎189
- 広島県西部子ども家庭センター ☎082-254-0381
- 広島県東部子ども家庭センター ☎084-951-2340
- 広島県北部子ども家庭センター ☎0824-63-5181
- 広島市児童相談所 ☎082-263-0694
- 市町の児童虐待相談窓口

DV 暴力を受けている人に気づいたら、相談窓口に相談するようにすすめてください。

相談・連絡先

- 広島県西部子ども家庭センター ☎082-254-0391
- 広島県東部子ども家庭センター ☎084-951-2372
- 広島県北部子ども家庭センター ☎0824-63-5181
- 市町のDV相談窓口

法務局・人権擁護委員による電話相談

これは「人権問題」では?と感じたり、問題の解決の糸口がよく分からなかったら...
いじめ、セクハラ、パワハラ、差別、配偶者やパートナーからの暴力等の悩みごと、その他人権についての困りごと、心配ごとなど、暮らしの中で起こる様々な問題について相談を受け付けています。

みんなの人権110番(全国共通人権相談ダイヤル)
ゼロゼロみんなのひやくとおぼん
☎0570-003-110

① ダイバーシティとは

「ダイバーシティ」(多様性)という言葉を聞いたことがありますか。「ダイバーシティ経営」とか「性の多様性」といった文脈で耳にするものではないでしょうか。

ダイバーシティとは、さまざまな次元で人々が異なっている状態を指します。差異といっても、ぱっと見ておおよそ見分けられる差異もあれば、ある程度知り合ってわかる差異もあります。たとえばイベント会場に行くとしましょう。「若い女性が多い」「外国人ばい人がちらほらいるな」と、私たちはそこにいる人をざっと分類します。一方、そのあと隣の人と話してみると、趣味、価値観、宗教などあらたな差異が明らかになることでしょう。女性だと思っただけで違っていた、といったこともあるかもしれません。

このように多様な人々が集団にいと、豊かな発想は生まれるかもしれませんが、逆に、対立が多くて物事が進まないこともあります。多様性は諸刃の剣です。

② インクルージョンとは

理想的には、多様なメンバーそれぞれが自分の経験を持ち寄り、たがいの意見に耳を傾ける一方で、一人一人がその集団に心から所属していると感じられ、絆が作られている状態が好ましいといえます。このような状態を「インクルージョン」(包摂)と呼びます。

みなさんは、学校や職場、友人グループ、趣味のサークルなど、所属している集団に包摂感を抱えていますか。以下のようにふるまわざるをえない人はいませんか。

- 本当は違うときも、皆の「わかる～」「いっしょ～」「あるある～」に合わせる。
- 会議で分かっているふりをする。
- 同性愛だとばれないように、意見を言う前に自分で発言内容をチェックする。
- 「彼氏いる?」と聞かれ、「彼女ならいる」と思いながら「いない」と答える。そもそも恋愛や私生活の話を自分から持ち出さないようにしている。
- 職場で少数派の女性なので、悪目立ちしないようあえてモノトーンのスーツを着る。あるいはあえて明るい色を選ぶ。
- 日本風の通称名を名乗る。

③ インクルージョンの指標

社会心理学では以下のような項目で、集団のインクルージョンの度合いを測定しています(Jansen et al 2014)。全16項目の半分を紹介しましょう。

- 私のチームは私に所属感を与えてくれる。
- 私のチームは私を仲間とみなしてくれる。
- 私のチームは私を好いてくれる。
- 私のチームは私のことを気にかけてくれる。
- 私のチームは、私が自分自身でいられるチームである。
- 私のチームは、私が素のままの自分を出せるチームである。
- 私のチームは、私に自分自身でいてほしいと思っている。
- 私のチームは、私に素のままの自分を出してほしいと思っている。

④ インクルーシブな社会を目指して

所属する集団によっては「素のままの自分を出す」のは簡単ではないかもしれません。とくに職場では職務や役割があるので、難しいこともあるでしょう。だとしても、集団の目的を共有した上で、それぞれのメンバーが自分の経験や背景を元に判断し、率直に意見を出し合い、皆で力を合わせてよりよい決定をすることは、十分に可能なはずで。

ただし、たとえばある人がレズビアンだからといって「レズビアンならではの意見」を求めるのは筋違いです。大切なのは、その人がその人でいられるような環境作りであって、求めるべきはその人ならではの意見なのです。



広島大学ダイバーシティ研究センター長
大池 真知子

1967年生まれ、愛知県名古屋出身。
1998年お茶の水女子大学人間文化研究科博士課程修了(博士(人文科学))。1999年広島大学総合科学部講師、2017年より広島大学ダイバーシティ研究センター長として、性の多様性、多文化共生などについての各種プロジェクトを実施。専門はアフリカの女性文学。

エソール広島によるLGBT電話相談

エソール広島(公益財団法人 広島県男女共同参画財団)では、性的指向及び性別違和等(LGBT等性的少数者)に関する研修を受けた相談員が相談をお受けし、あなたの思いや考えに寄り添います。

こんなことで悩んだら...

- 性的指向や性別の違和感
- 性別がはっきりわからない
- 性的指向や性別違和のために、職場で安心して働けない など

ご家族、パートナー、支援者の方からの相談もお受けします。

相談受付 ☎082-207-3130

※相談無料。相談は匿名で、秘密は厳守します。

開設日時 毎週土曜日(祝日休) 10時～16時

新しい啓発冊子のご紹介

広島県では、県民の皆さんに、人権課題について理解し、考え、さらには行動していただくため、さまざまな取組を進めています。令和元年度は、右の啓発冊子を作成しました。広島県のホームページからダウンロードできますので、ぜひご覧ください。



「同和問題の今(いま)について考える」

同和問題の現状について理解していただくため、最近の意識調査や具体的な事例をもとに考えていただけるような構成となっています。



「性の多様性ってどういうこと? ~私たちの性は多様です~」

性的少数者に関する意識調査や具体的な事例をもとにわかりやすく解説しています。

子どもの人権110番(全国共通・通話料無料) フリーダイヤル ゼロゼロみんなのひやくとおぼん ☎0120-007-110

女性の人権ホットライン(全国共通) ゼロナナゼロのハートライン ☎0570-070-810

外国人権相談ダイヤル(全国共通) (Foreign-language Human Rights Hotline) ☎0570-090-911

インターネット人権相談受付窓口 (パソコン、携帯電話、スマートフォン共通) <http://www.jinken.go.jp/> インターネット人権相談 検索

